

特別展
神戸の美術家



亀高文子(横断しずく) 1950年 兵庫県神戸市 35.0×45.0cm 個人蔵

(展示第2期)

亀高文子

とその周辺

2009年8月8日(土)～10月18日(日)

休館日:月曜日(ただし9月21日、10月12日は例外)、9月24日、10月13日

開館時間:午前10時～午後5時(金曜日は午後6時まで)、入館は閉館の30分前まで

入館料:大人800円(600円)、高大生600円(400円)、小中生400円(200円)

※()内は30名以上の団体/神戸市老人福祉手帳(すこやかカード)持参の方400円
のびのびバス乗車持参の方無料◎10月3日(土)はKOBEX興光の目で入館無料
主催:神戸市立小磯記念美術館、産経新聞社 後援:(財)兵庫県芸術文化協会、NHK神戸放送局
(作品の一部を展示替えいたします。)

神戸市立小磯記念美術館

<http://www.city.kobe.lg.jp/culture/culture/institution/koissogallery/>

7658-0032 神戸市東灘区向洋町中5-7 TEL:078(657)5880 交通:JRは古駅・阪神魚崎駅のりかえ、六甲ライナー(アイランド上) 地下車道へ徒歩すぐ(美術館の地下に有料の市営駐車場があります)

同時開催
小磯良平
作品展!!!
— 油彩、素描 —
(展示第1期)

Fumiko Kametaka



明治16年(1883年)撮影(東京写真1)
神戸ファッションビル1階、展示14.0m 撮影者不明(神戸市)

明治末・日本の洋画界の草創期から、大正、昭和にかけて活躍した女性画家の先駆者、
亀高文子(1886-1977)の職業を、彼女が師事した作家や家系の作品とともに振り返ります。

亀高文子は、横浜の外国産館で、外国人向けの絵画を描いていた父・我道豊洲(豊次郎)
(1863-1915)と、母・その一人娘として横浜に生まれました。父は外国産館での仕事により
経済的な成功を収めました。美術家として大成できなかったことを悔やみ、娘の文子にその夢
を託します。

明治時代において女性が職業を持つこと自体が珍しく、ましてや画家を目指すことは困難を
伴いましたが、文子は自らの意志と父の強い願いに押し寄せ、画家となるために歩み始めます。
創立して間もない女子美術学校に学び、卒業後は、小杉未醒の紹介で講義員に就任。さらに
太平洋画会研究所に入所して中村不折にデッサンの指導を受けました。そして、太平洋画会展に
出品するかわら、第3回文展に初めて出品した(くろかすり)が人賞、好評を得たことで、文子
の存在が世間に広く知られるようになります。

画家として重要な第一歩を踏み出した文子でしたが、結婚して間もなく夫・我道と平と死別
するなど苦難に遭遇します。しかしながら、家業の生活を支える一方で官展への出品を続け、
与謝野晶子らが創立した朱楽会に会員として作品を発表し、1923(大正12)年に神戸に転居して
からは、赤野女子美術研究所を創設して展覧会を開催、兵庫県美術家連盟の創立に参加する
など、美術家として絶え間ない活動を経験しました。

これまで30余年の間に、亀高の作品がまとまって紹介されることはありませんでした。本展
を機に、亀高文子の作品の魅力に触れていただくとともに、その周辺で彼女に影響を与え、支えた
人々の作品に、時代の雰囲気と彼女の優れた人柄をも偲んでいただければと考えます。



裸婦(1897年)油彩、14.5x23.5cm
神戸ファッションビル1階、展示14.0m
撮影者不明(神戸市)



裸婦の群像(1900年)油彩、14.5x23.5cm
神戸ファッションビル1階、展示14.0m
撮影者不明(神戸市)



小杉未醒(赤野美穂子の母)の肖像(1904年)
油彩、14.5x23.5cm、197.2x141.5cm
展示室2階(展示室) 展示14.0m



亀高文子(1915年)油彩、14.5x23.5cm
神戸ファッションビル1階、展示14.0m 撮影者不明(神戸市)



雪景色(1917年)油彩、14.5x23.5cm
神戸ファッションビル1階、展示14.0m
撮影者不明(神戸市)



亀高文子(1918年)
油彩、14.5x23.5cm
展示室2階(展示室)



神戸の街(1919年)油彩、14.5x23.5cm
展示室2階(展示室) 展示14.0m
撮影者不明(神戸市)

会期中のイベント

講演会 9月27日(土)午後2時~3時 「文子の作品と関一(東京・神戸・KIX) 講師:大田原了氏(大阪大学教授) ※定員60名(9月16日10時から整理券を配布します)。」 **展覧会解説会** 毎週1回(9月13日と27日を除く) 午後と料一(各30分) 学芸員が展覧会の見どころや作品について解説します。

周辺作家を知る一番外解説会 9月3日(土)「中村不折と我道(神戸)」 10月1日(土)「小杉未醒(神戸)と我道(神戸)」 両日とも午後2時~3時 講師:山崎学芸員(芸術家) **スペシャルイベントおまけ解説会** 8月23日(日)、30日(日) 午後1時~4時(約30分) 美術家大伴敏(亀高さんで絵本づくり) 9月22日(土)、30日(日) 午後1時30分~4時

材料:小学1年生~中学生(大人用)の280円(税)までに往復は行きかによる申し込みが必須です。詳しくは美術館にお問い合わせください。 特別研究会「阪神文化圏における女性芸術家と近代美術教育」9月13日(土) 午後1時~4時、山崎了氏(和歌山大学)を皮切りに、我道(神戸市)と我道(美術系)内、小田原了氏(女性日本画家と美術教育)、近代大正時代の婦人(主催)科新(京都府立大)「20世紀の女性美術家と親友美術家の調査研究」アツアツにおける戦争と

デイズ(神戸市)の美術(協力)神戸市立小磯記念美術館、9月16日(土)自由にご参加ください。定員60名(9月16日10時から整理券を配布します) **アツアツ解説** 毎週1回(9月11日と午後2時~3時)20分 学芸員による解説 **イベント美術館** 展示時間を短縮します。 **ライブコンサート** 9月26日(土)午後2時~ 神戸市立小磯記念美術館による演奏

9月27日(土)午後2時~3時 「文子の作品と関一(東京・神戸・KIX) 講師:大田原了氏(大阪大学教授) ※定員60名(9月16日10時から整理券を配布します)。」 **展覧会解説会** 毎週1回(9月13日と27日を除く) 午後と料一(各30分) 学芸員が展覧会の見どころや作品について解説します。

※本展は観覧し無料(観覧のみ)。入館には観覧券は必要ありません。

神戸ファッション美術館

観覧券の予約販売
2020年9月10日(水)~10月11日(日)
9時~18時 TEL:078-404-0201

神戸ゆかりの美術館

(観覧券・入館の他定額納付金(クレジット決済)
2020年9月10日(水)~9月11日(日)
10時~18時 美術館内 TEL:
2020年9月10日(水)~9月11日(日)
9時~18時 TEL:078-404-0201

近隣施設

